

「子ども見守り隊」
の人に
助けられました



下校時に子どもが友達とけんかして、泣いて立ち止まっていたところ、子ども見守り隊の女性が保護してくださいました。さらに、学校に電話で連絡をいただき、私が駆け付けるまで子どもに付き添ってくださったんです。地域のつながりはとても大事だと痛感しました。私自身も地域に伝承されている踊りの練習で、地域の方々と触れ合えるのが楽しみのひとつです。

うえき なおみ
上木 奈緒美さん(32歳・看護師)
あきと
煌人さん(小学1年生)
かなめ
奏芽さん(5歳)

自治会は暮らしに
欠かせない
存在です

三世代が交流する自治会の行事を通して、近所の人とのつながりが深まりました。子どもたちが伝統行事に参加する機会も多く、子どもたち同士のつながりも広がっています。通学路の安全確保や防犯灯の整備も、自治会の皆さんの熱心な取り組みのおかげ。自治会は私たちの暮らしに欠かせない存在になっています。



しげなが よしあき
重永 義明さん(47歳・農業)
あやこ
亜矢子さん(42歳・農業)
だいすけ
大輔さん(小学6年生)

回覧板の
受け渡しから
ご近所の輪が
生まれました!



引っ越し当初は、新しい造成地だったこともあり、ご近所同士のつながりがありませんでした。今では子育ての話などを気軽に話し合えるほど仲が良いのですが、そのきっかけが自治会でした。回覧板の受け渡しでのあいさつや会話から始めて、いつしかみんなでバーベキューをする仲になりました。それまで自治会に加入した経験がなかったのですが、加入して本当によかったです。

しげすき あいこ
指宿 愛子さん(36歳・会社員)
こうき
航輝さん(小学5年生)
ゆたか
佑太さん(小学3年生)

【特集2】 見直して みませんか? 地域のつながり

防犯や防災はもちろんのこと、普段のちょっとした困りごとでも、自治会に加入していることで解決したり、安心できたりすることがあります。ここでは、子育て世代の自治会加入者に聞いた、地域とのつながりの様子を紹介します。

【問】 地域コミュニティ課
☎21-1714 FAX22-0200

「きずな社会づくり条例」ができました!

今、地域が抱える課題はより複雑になっていて、行政がその全てに対応することが難しくなっています。また、近年は甚大な被害をもたらす自然災害が増加しており、いざというときに助け合える「地域のきずな」の大切さが改めて見直されています。そこで市では、市民、自治会、地域まちづくり推進委員会、事業者、市役所が一体となって住み良い地域づくりに取り組む「宮崎市自治会

及び地域まちづくり推進委員会の活動の活性化に関する条例(通称「きずな社会づくり条例」)を、平成28年6月24日に施行しました。

条例では、市民の皆さんが自治会加入に努めることなどが定められています

地域コミュニティ課
主査
さいた たかひろ
齊田 孝啓

事業者も地域活動に
協力しています!



寄贈車の青パトで
見回りへ行って
きま〜す!

校区内の防犯・見守りのため、平成24年から青色防犯パトロールによる安全活動をスタート。個人の所有車で見回りをしていたところ、(株)ホンダロックさんが自治会との会合の際にこのことを知り、車を1台寄贈してくださいました。おかげで継続してパトロールできています!

広瀬小学校区
地域づくり協議会 事務局長
はぎわら たみお
萩原 民生さん

気配りしてくれる
ご近所に感謝!



たなか やすこ
田中 泰子さん(42歳・会社員)
ゆうか
優加さん(小学4年生)
さくら
邑果さん(5歳)

住む人の顔が
見えて安心です!



かわべ かなこ
河邊 香那子さん(38歳・主婦)
あやな
彩那さん(小学1年生)
こうしろう
鴻志郎さん(3歳)

マイホームを建てたのを機に自治会に加入しました。引っ越し当初は真っ暗な団地でしたが、自治会で防犯灯を設置してもらったおかげで明るくなりました。ほかにも、ごみ集積所は会員が持ち回りで清掃していていつもきれいですし、地区の夏祭りが交流の場になっていて、地域の皆さんはほとんど顔見知り。安心して暮らせています。

近所の大人の人も
仲良しだよ!



せきもと けいたろう
関本 圭太郎さん(中学1年生)
ゆうたろう
有太郎さん(小学5年生)
ゆか
侑佳さん(小学2年生)

両親が共働きだけど、地域の皆さんにいつも見守ってもらっていて安心です。ご近所の皆さんとはお菓子や野菜を交換し合ったり、虫取りに連れて行ってもらったり、ペットボトルキャップの収集に協力してもらったりしていて、みんなとても優しいです。先日は地元の歴史や生き物のことなども教えてもらって楽しかったです!